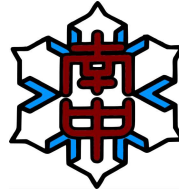


心の絆

No. 5



晴れやかな秋空と爽やかな風が心地よい季節となり、衣替えの時期を迎えました。

衣替えは、平安時代に始まった習慣で、江戸時代からは旧暦の6月1日と10月1日に行うようになったそうです。明治6年（1873年）からは太陽暦の6月1日から9月30日が夏服、10月1日から翌年5月31日が冬服と定められました。やがて、学生服や一般の人にも定着したそうです。

本校では、今年度の秋より衣替え移行期間を廃止し、年間を通して天候や体調に合わせて夏服も冬服も着用することができるようになりました。（行事によっては、着用する服を指定する場合があります。）この機会に、冬服の身だしなみや交通安全についての生徒心得を再確認し、今後も規律ある学校生活を送っていきましょう。

決まりを守り、南部中学校の生徒らしく、**自覚と責任**ある行動をしよう！（生徒心得より）

身だしなみ 制服

○学生服タイプ

- ・制服は、日本被服工業組合の認定マーク付きの標準型学生服です。
- ・校章、組章（えり）、名札（胸ポケット）を付けましょう。
- ・白のソックス（ワンポイント可）を着用しましょう。
- ・学生服の下に着るものは、季節によってカッターシャツ、Tシャツ、トレーナー、セーター、ベスト等いずれでもよいが、色（白、黒、紺等が望ましい）や形は派手にならないようにしましょう。

○セーラー服タイプ

- ・制服は、紺のセーラー服（幅1cmの白線1本）、ひだスカート（ひざが隠れる程度の長さ）かスラックスを着用します。
- ・校章、組章、名札を付けましょう。（台布は、1辺5cmの正方形の紺又は黒のフェルトで作し、胸ポケットに付けましょう。）
- ・緑のネクタイ、白のソックス（ワンポイント可）又は黒のタイツを着用しましょう。
- ・セーラー服のすそは、スカートやスラックスと十分重なる長さにし、うつむいても背中が出ないようにしましょう。
- ・セーラー服の下に着るものは、Tシャツ、トレーナー、セーター、ベスト等いずれでもよいが、色（白、黒、紺等が望ましい）や形は派手にならないようにしましょう。

身だしなみ その他

- ・ウインドブレーカー、コート等のデザインは、中学生にふさわしい色や形のものにしましょう。
- ・雨天や積雪時には防水性のある外履きを履きましょう。
- ・体操服やスポーツウェア等は、通学に適したリュック等を利用して持ち運びましょう。

交通安全 自転車の安全

- ・自転車に乗る場合は、安全のためヘルメットを必ず着用しましょう。
- ・自転車通学者が、雨がっぱ（背中に蛍光テープの付いているものが望ましい）を着用する場合は、白又は黄色とします。
- ・降雪時、積雪時、凍結時は自転車に乗ってはいけません。